

要 望 事 項	1 5 水道局（福祉保健局）
	（1）都営水道一元化除外町村における一元化の実施等

（要 旨）

都営水道一元化計画から除外されている檜原村、島しょ町村の都営水道一元化を実現されたい。

（説 明）

都営水道一元化計画から除外された檜原村及び島しょ町村は、事業規模が小さく地理的・地形的特性から水道事業の効率的な経営には限界がある。

都営水道一元化市町では、すでに高水準での安定・安全な水の供給は確保され、おいしい水の供給へと高度化しており、同じ都民でありながら安定給水や安全な水の供給さえ受けられない格差がある。

このようなことから、高水準で安全な水の供給及び料金格差等を是正し、都営水道一元化市町と同様のサービスを受けられるよう、都営水道一元化が必要である。

要望事項	15 水道局
	(2) 奥多摩湖の水質保全と湖面等利活用の両立を図った事業推進

(要 旨)

奥多摩湖（小河内ダム）は、昨年11月に竣工60周年を迎えたところである。

ダム建設の計画自体は昭和初期（大正末期）に遡り、補償問題や戦争等、幾多の困難を乗り越え、奥多摩町（当時の小河内村）、丹波山村、小菅村の3村合わせ945世帯の移転と工事における87名の尊い犠牲のもと、昭和32年に完成した。

東京都水道局では、これより以前の明治時代から100年以上の長きに亘り、健全で緑豊かな約23,000haの水道水源林の継続的な管理を行っている。

現在の東京都民が安定した安全な水道水の恵みを得られるのも東京都と水源地のまちが相互理解をし、協力関係を育んできたからこそであると考える。

今後も引き続き、相互の良好な関係を構築していくための取り組みを講じられたい。

(説 明)

奥多摩湖は、秩父多摩甲斐国立公園と緑のダムとよばれる水源林に囲まれた自然豊かな場所に存し、水道用ダムとしての重要な役割を持つと同時に、多くの都民が訪れる観光スポットでもある。また、奥多摩水と緑のふれあい館は、ダムの仕組みや奥多摩の歴史、民俗を学べる広報施設の役割を担っている。

このような貴重なエリアを将来にわたって存続していくためには、都民をはじめ多くの人々に水源地や水質保全の重要性を知ってもらい、体験してもらうことが必要である。これまでも水源教育と観光（地域）振興の必要性を説き、東京都においても様々な整備を行っていただいたが、更に都民に親しまれるエリアとなるべく、東京都水道局所有の船舶等を活用した体験学習や吊り橋等の連絡橋の設置並びに民有林の購入の対象地域を奥多摩町全域に拡大し、事業推進をお願いしたい。